

身近な場所で
安心してがん治療を



独立行政法人労働者健康安全機構



関東労災病院
放射線治療科

● 全領域のがんに対し 最適な放射線治療を

放射線治療は、手術・薬物療法などと並ぶがん治療の大きな柱の一つです。手術と同じ局所療法(薬物療法は全身療法)ですが、機能や形態を残すことで体への負担を小さくできることが多く、根治治療から緩和治療まで目的により治療の強度を変えることで幅広い疾患、状態に対応することができます。

専任の看護師が2名おり、治療中のケアやサポートも充実しており、多くの方が通院で治療を受けられています。また、当院での治療が難しい場合には、治療可能な他施設のご案内も行っています。

放射線治療の目的

・根治目的

根治(完全な治癒)を目的とした放射線治療です。疾患などにより、放射線治療単独で行う場合や薬物療法と併用する場合があります、手術の前後に組み合わせる場合もあります。

・緩和目的

根治できない進行がんや転移がんの場合、がんによって様々な症状が起こります。その緩和や予防を目的とした放射線治療です。



多職種チームによる 全力のサポート

放射線治療に関する専門的な知識経験をもつ放射線治療医が責任を持って患者さんの治療にあたります。また、治療担当看護師、放射線治療専門技師、医学物理士、放射線治療品質管理士、診療放射線技師など充実したスタッフにより、患者さんや家族の方々に安心して放射線治療を受けていただくことを心がけています。



患者さんひとりひとりに最適な治療を提供できるように、関係各科と連携をとりながら放射線治療の方針を決定します。治療期間中および治療終了後も定期的に診察し、必要に応じて適切な処置を行います。



治療チームの全メンバーと協力して、治療前、治療中および治療後の患者さんご家族のケアを行います。患者さんの状態を観察して、変化が生じたときに、すぐに対処できるよう支援します。



医師の処方に従って日々の放射線治療を行います。また、医学物理士と協力して、放射線治療機器の定期点検を行い、適切に機能していることを確認します。

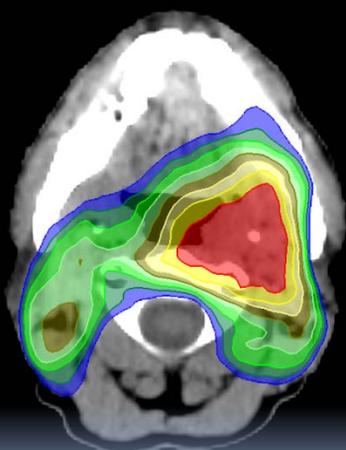


放射線治療医と協力して、治療計画を行います。また、診療放射線技師と協力し放射線治療機器の精密なビーム測定や、定期的な安全性検査を行い機器が適切に機能していることを確認します。

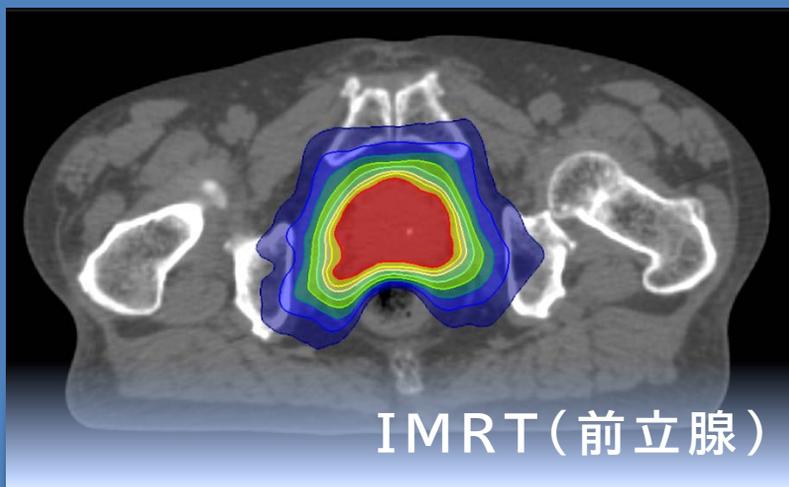
● 確かな技術で 患者さんに優しい治療を

近年の放射線治療の進歩は目覚ましく、腫瘍には正確に必要な十分な放射線量を照射しながら腫瘍周囲の正常組織への線量を低減し、有害事象の発生を抑えることができる「高精度放射線治療」を行うことができるようになりました。

強度変調放射線治療 (IMRT)



IMRT (頭頸部)

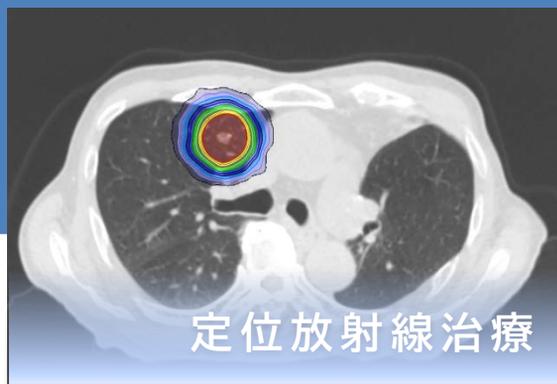


IMRT (前立腺)

強度変調放射線治療(IMRT)とは、多数の方向からの放射線に強弱をつけて、がんの形態に合わせて集中的に照射する治療法です。がんの形態は複雑で、周囲には正常な臓器や組織があります。IMRTは、周囲の正常組織への線量を極力減少させながら、がん患部により高い線量を照射することができるため、がんの制御率を高め、副作用を最小限に抑えることができます。

定位放射線治療

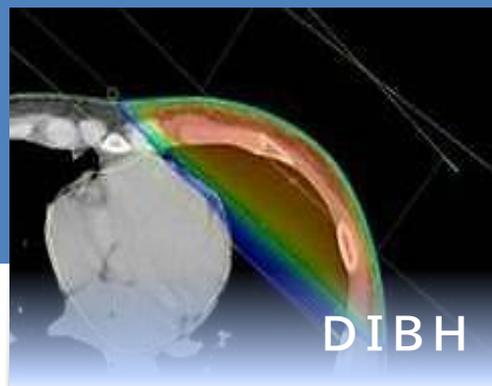
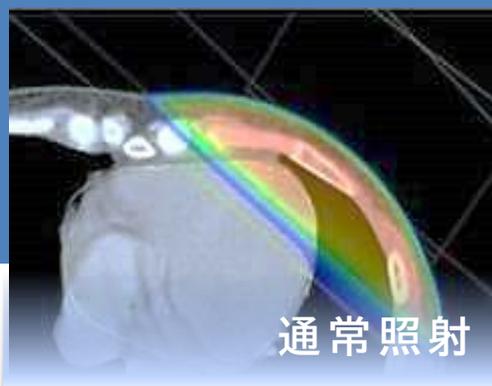
照射技術を駆使して、病巣に対し多方向から放射線を集中させる技術です。適応疾患では少ない副作用で高い局所制御効果が期待できます。



DIBH（深吸気下停止下照射）

左乳房に対する放射線治療を行う場合、腫瘍の存在部位や体形により心臓の一部が照射範囲に含まれることがあります。通常の治療では自由呼吸(自然な呼吸)下で治療を行いますが、心臓をどうしても避けられない場合には深吸氣息止め照射(DIBH)を用います。深く胸に息を吸って心臓の腹側の肺が膨らんだところで息を止めると心臓を照射範囲に含めることなく治療を行うことができます。

ただし、毎日の治療の際に同じような呼吸で何回も吸気時に息を止める必要があり、事前のトレーニングを要するため、どなたにでも行えるものではありません。



IGRT(画像誘導放射線治療)

IGRTとは患者さんの画像情報を利用して腫瘍や標的の位置を確認し位置補正を行うことで高精度に標的に放射線を照射する技術です。

治療体位のまま治療装置で簡易的なCTを撮影することもでき、金属のマーカーなどを埋め込まなくても標的を確認し、正確な位置に放射線を照射することができます。



X線写真(前立腺部)



Cone Beam CT写真(前立腺部)

治療装置・周辺機器の性能を 最大限に引き出す



世界各地の5000施設以上で導入実績を持ち、世界標準規格であるバリアン社の放射線治療装置です。世界に信頼される高精度・高出力機であり、強度変調放射線治療(IMRT)定位放射線治療、画像誘導放射線治療(IGRT)などの最新の照射方法に対応しています。

Clinac iX

Ray Station



当院では、放射線治療計画装置はRay Stationを使用しています。治療計画用CTから治療部位の画像データを収集・3次元的に解析し治療を計画設定する装置です。超高速多目的最適化エンジン、驚異的な計算速度、Adaptive radiation therapyなどの画期的な機能を備えた次世代のシステムです。患者さんひとりひとりに最適な治療計画が作成できます。計算時間も従来の放射線治療計画装置より圧倒的に短くなり、様々な検討を重ねることでより精密な治療計画を行うことが可能です。



Optima CT580W



Acuity

あたりまえのことを あたりまえに

近年の放射線治療の進歩により「高精度放射線治療」を行うことができるようになった一方、「高精度」を担保するためには、品質保証(Quality Assurance: QA)、品質管理(Quality Control: QC)は必要不可欠となっています。

当院においても、日・週・月・年ごとの放射線治療機器の精度管理プログラムを作成し、質の高い放射線治療に必要な物理的・機械的精度の管理、励行を行っています。さらに、QA/QCカンファレンスを週1回実施して、放射線治療室スタッフ間での情報共有と複数の目による確認を行い、患者さんへより良い治療が提供できるよう日々努めています。

日本放射線腫瘍学会より、**認定施設**の承認



当院は、公益社団法人日本放射線腫瘍学会(JASTRO)が定める「安全かつ高精度の放射線治療を推進することを目的とした施設基準」を満たし、JASTRO認定施設として認定されています。

地域がん診療**拠点**病院

地域がん診療連携拠点病院は、地域における「がん医療」の中心的役割を担う施設として、都道府県知事の推薦に基づき、厚生労働大臣が指定した病院です。

専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者さん・地域住民の皆様への相談支援や情報提供を行っています。関東労災病院は、がん治療における以下の取組み等が評価され、平成28年4月1日より「地域がん診療連携拠点病院」として指定されております。

安心安全な医療を守る 厳しい目

放射線治療には、リニアック(直線加速器Linear accelerator)と呼ばれる高エネルギーの放射線を照射する装置が用いられます。

当院では、細分化された点検項目をチェックして、リニアックの管理を行っています。点検結果を放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士、医学物理士、診療放射線技師などの専門資格を有するスタッフで共有して、装置の状態を確かめています。さらに、放射線治療機器テクニカルサービスエンジニアと連携し、疑わしい部品を事前に交換するなどの対策を講じて、重大なトラブルが発生しないよう努めています。

突発的なトラブルに対しても、患者さんの為に少しでも中断期間が短くなるよう、迅速対応が可能な体制作りをしています。当院放射線治療科は「1000日連続治療達成」を称え表彰されましたが、これを通過点と捉え、継続して放射線治療を行っていきたいと考えています。日々の放射線治療を、常にBest Performanceで受けていただけるよう、これからも邁進していく所存です。

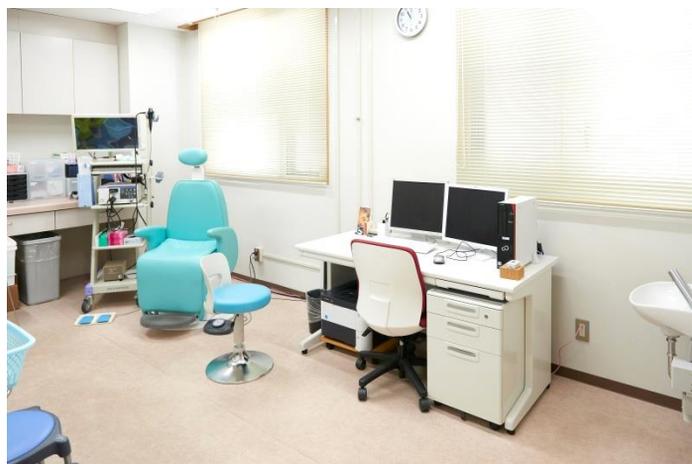
1000日連続治療達成



リラックスして
治療を受けられる環境を



放射線治療室前



第1診察室



治療室待合

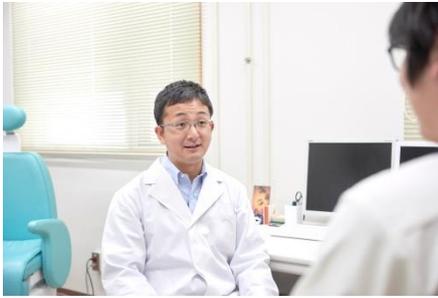


計画室



照射室

放射線治療の流れ



放射線治療医が診察して、関係他科と連携をとりながら最適な治療方針を決定します。
安心して治療が行えるように看護師が生活面等の説明を行います。



放射線治療計画専用のCT を撮像します。放射線治療を受ける時と同じ体勢で撮像して、体にマークを描いたり、治療部位によっては固定具を作成します。



撮像した CT 画像を使って放射線治療医が医学物理士と協力して最適な治療計画を作成します。治療計画の最適性を医学物理士や診療放射線技師が検証します。



検証された治療計画に基づいて診療放射線技師が正確に放射線を照射します。



定期的に放射線治療医が診察します。
看護師が相談を受けたり有害事象が出現した際のケアを行います

放射線治療科 受診のご案内

当科は**完全紹介予約制**です。

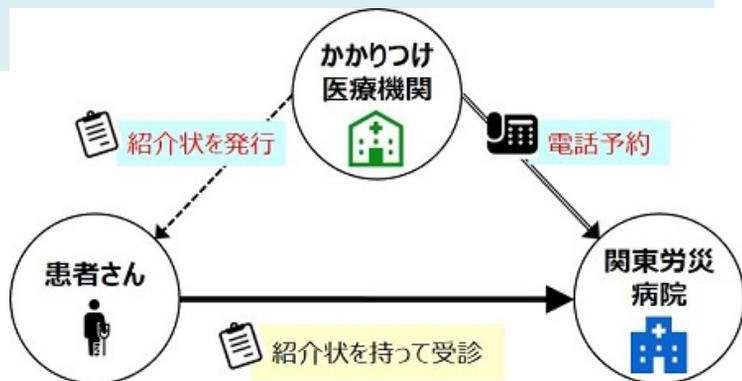
初診の方はお近くの病院・クリニックをご受診いただき医療機関様からの予約が必要です。診療情報提供書(紹介状)をご持参のうえ、予約時間までに余裕をもってお越しください。

関東労災病院 地域医療連携室

TEL: 044-435-5031(直通)

FAX: 044-435-5030

受付時間: 月~金(平日) 8:15~17:00



電車

東急東横線・目黒線 元住吉駅(※各駅のみ停車) 東口から 徒歩7分

東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅 東口から 徒歩12分

JR南武線 武蔵小杉駅 東口から 徒歩14分

※北口を利用されるとお時間がかかるため、東口をご利用ください

JR横須賀線 武蔵小杉駅新南改札口から 徒歩15分

バス

各駅から川崎市営バスまたは川崎鶴見臨港バスに乗車し【労災病院前】で下車

JR横須賀線 武蔵小杉駅から約10分

東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅から約5分

JR南武線 武蔵小杉駅から約5分

※東口のバスターミナルをご利用ください

JR川崎駅から約30分

JR新川崎駅から約20分

